

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年8月17日

計画の名称	人が主役のまちづくりと良好な城下町空間の創出（犬山城下町地区）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	犬山市
計画の目標			

- ・地域住民のゆとりと潤いのある住環境の形成を図り、来訪者にとって国宝犬山城と城下町としての趣の感じられる街なみ景観を形成していくまちづくりを目指す。
- ・城下町地区を中心に、通過交通の排除や走行速度の抑制を図り、歩行者が楽しく安全で安心して歩けることが出来る、回遊性の高い歩行者優先のまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・歩行者優先の快適なまち、多くの観光客が訪れ賑わいのあるまちを形成するため、生活者と来訪者の歩行者通行量を増加
- ・城下町としての良好な景観を形成していくため、犬山市景観計画に基づく城下町ゾーン内の景観形成促進地区数を増加

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
本町通線の歩行者数：歩行者数(自転車含む) 12h (7:00～19:00)	912人	1,070人	1,256人	
城下町ゾーン内における景観形成促進地区数：城下町ゾーン内における犬山祭車山所有町内（13町内会）	4地区	8地区	13地区	

全体事業費	合計 (A+B+C)	551百万円	A	445百万円	B	0百万円	C	106百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.2%
-------	------------	--------	---	--------	---	------	---	--------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業関係各課による検証会議を開催し、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討する。	平成28年8月
	公表の方法
	市ホームページにおいて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1	住宅	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	犬山城下町地区街なみ環境整備事業	街なみ環境整備事業 (面積：183.2ha)：協議会活動助成(住民協働まちづくり活動推進事業)、排水路整備、道路美化、都市景観形成助成、まちづくり活動支援施設整備(史料館)、歴史的風致形成(堀部家住宅整備、国登録文化財修理助成)、城下町地区交通誘導基盤整備	犬山市						445	
合計															445		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C1	住宅	一般	犬山市	直接	犬山市	—	犬山城下町地区交通まちづくり基本計画策定事業	現況調査、交通量調査、課題抽出等	犬山市						15	
C2	住宅	一般	犬山市	直接	犬山市	—	文化史料館リニューアル事業	展示室・収蔵庫・荷解室・倉庫等改修等	犬山市						91	
合計													106			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C1	城下町地区及び周辺の現状交通について検証を行う。また、今後のまちづくりや観光動向も展望しながら、車輛・歩行者の動線、駐車場配置、サイン計画等、地域住民にとっても観光客にとってもホスピタリティ度の高い総合的な「交通まちづくり」の基本的な方針を構築するとともに計画に沿ったサイン・案内看板・案内標柱等の整備を実施する。	
C2	建設後(昭和61年3月竣工)22年が経過しているため、外観を含め建物本体の老朽化が著しい。また、所蔵品を展示するスペースが十分に確保されていない状況である。当該事業は、設備等の改修に併せて、当該施設を犬山城と城下町をつなぐ結節点として、犬山城・城下町の歴史や特徴を伝えるガイドンス施設として改修を行う。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・街なみ環境整備事業により住民協働まちづくり活動推進、排水路整備、道路美化、景観形成助成、まちづくり活動支援施設整備、国登録文化財修理助成等を実施した結果、犬山城下町地区の良好な住環境が向上し、魅力ある街並みの形成と共に、景観形成やまちづくりに対する地域住民の意識向上が図られた。
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標① (本町通線の歩行者数)	最終目標値	1,256人	目標値と実績値に差が出た要因	当該事業以外にも、犬山城下町への観光客の誘導に繋がる観光宣伝やイベント啓発を進めたため。
		最終実績値	1,589人		
	指標② (城下町ゾーン内における景観形成促進地区数)	最終目標値	13地区	目標値と実績値に差が出た要因	景観に対する住民の意識向上のための普及啓発に努めたが、地区の登録には地区住民の8割以上の同意が必要となり、意思統一までに想定以上の時間を要することとなったため。
		最終実績値	11地区		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・犬山城下町地区への適切な交通誘導により、城下町への通行車両が減少 本町通の自動車通行数12h (7:00~19:00) H22 1,634台 ⇒ H28 1,169台 465台 28.5%の減
---------------------------------------	--

3. 特記事項 (今後の方針等)

・街なみ環境整備方針に従い、引き続き城下町地区の住環境整備について街なみ環境整備事業を実施する。
--

(参考様式3)

